

01 骨粗しょう症予防のための健康教育（骨密度測定）

申込期間：7月1日～31日



対象：町内在住の18歳以上の女性
検査内容：①かかとの骨の超音波検査
②保健師・管理栄養士のミニ講座 ※①のみは不可
日時：9月5日(木)
9:00～14:30の30分毎に受け付け。※申込状況により、受付時間が変更になる場合があります。
場所：藤久保公民館ホール
定員：200人(定員を超えた場合は抽選)
自己負担金：なし
申込期間：7月1日(月)～31日(水) ※7月31日必着

02 ママのための健康診断

申込期間：7月1日～31日

対象：町内在住の40歳未満の子育て中の女性
※職域などで健診受診機会がない人を優先します。

検査内容：①かかとの骨の超音波検査
②血液検査
日時：9月18日(水)※10月16日(水)に検査結果説明会があります。
①9:00 ②9:30 ③10:00 ④10:30 ⑤11:00

場所：三芳町役場3階
定員：100人(定員を超えた場合は抽選)
自己負担金：500円
申込期間：7月1日(月)～31日(水) ※7月31日必着

その他：希望者には保育があります。保育を希望する人は、申込時に申し出てください。ただし月齢年齢を問わず、一緒に健診を受けることができます。



03 はじめて子育て講座「ほっとサークル」

～ひまわりコース～ 平成25年4～6月生まれの子どもと家族が対象 定員20人 参加無料

3日間にわけて、子育て講座を行います。ママ友作りができる場としても好評です。(開催時間は全日10:00～11:30)

日程	場所	内容	持ち物
8月7日(水)	藤久保公民館	仲間づくり…自己紹介、おもちゃ製作、子育てQ&A	・母子健康手帳 ・筆記用具
8月21日(水)	藤久保公民館	おやこ体操…赤ちゃんとのふれあい、ママの体操 講師：健康運動指導士	・赤ちゃんに必要なもの(ミルク、おむつ、バスタオルなど)
8月23日(金)	保健センター	離乳食講座…離乳食はじめの一口、離乳食の試食 講師：管理栄養士	

申込方法：電話、FAX、メール、QRコードで申し込み込み。メール、FAXの場合は以下の必要事項を記入。必要事項：①〇〇申し込み②参加されるママの名前③住所④電話番号⑤子どもの名前と生年月日⑥何番目の子どもか⑦兄(姉)の参加の有無
☎258-1236 FAX 258-5994 ✉hoken@town.saitama-miyoshi.lg.jp



休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	第二休日診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林 353	富士見市鶴馬 3351-2	ふじみ野市駒林 353	富士見市鶴馬 1967-1
電話番号	049-264-9592	049-252-4050	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	日曜・祝日	月～土曜	月・木曜
診療時間	9:00～16:00 20:00～22:00	9:00～16:00	20:00～22:00	月・木曜が平日 18:00～翌朝8:00まで 月・木曜が祝日 8:00～翌朝8:00まで

夏のおはなし会 —親子で楽しむ昔話&紙芝居—

無料

7月27日(土) 申込受付中

▶内容…幼児から大人まで楽しむことができる昔話・紙芝居を行います。親子でぜひお越しください。

- ・5歳～小学2年生の部 10:10～10:50 定員50人
- ・小学3～6年生の部 11:10～12:00 定員50人

▶申込み…中央図書館で受け付けています。電話可。

夏休み科学工作教室

無料

8月22日(木) 7月20日(土)から申込開始

▶小学1・2年生の部 10:10～12:00 定員35人
テーマ…化石ってなんだろう？

—ほんものの化石。見て、さわって、レプリカづくり—

▶小学3～6年生の部 13:30～15:30 定員35人
テーマ…化石で大むかしの地球へGO！

—化石わり体験と、レプリカづくり—

▶申込み…7月20日(土)から中央図書館で受け付け。電話不可。

お知らせ

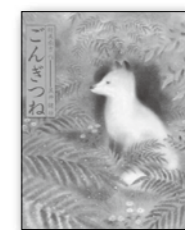
絵本・紙芝居などの「団体貸出サービス」実施中

町内の幼稚園・保育園・家庭保育室にも、団体貸出サービスを実施しています。
1民間団体の貸出冊数は最大30冊、貸出期間は最長31日。団体利用登録申請(クラスごとの登録も可)は簡単です。お問い合わせは中央図書館まで。

図書館だより

中央図書館 ☎258-6464
開館時間/10:00～19:00(土・日は18:00まで)
休館日/毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
竹間沢分館 ☎274-1722
開館時間 11:00～18:00
休館日/毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
地域文庫
児童書の貸出、お話会などを行います
つくし文庫…7月20日(土) 10:00～12:00
場所/上富第1区集会所
あらた文庫…毎週火曜日15:30～18:00
場所/荒田宅(藤久保536-4 三芳東中学校近く)

生誕100年 新美南吉の本 別置紹介中



ごんぎつね

作/新美南吉 絵/黒井健
出版/偕成社
発行/1986年9月
請求記号:E 24

新美南吉が18歳の時に書いた傑作短編。50年以上の間、国語科の教科書にも掲載されている、兵十ときつねのごんの切ない物語を、画家・黒井健が幻想的な絵で描いた絵本。

みよし 歴史 探訪

木の宮地蔵尊

富の地蔵(さま)と言った時と木の宮地蔵なり武蔵野地蔵と言った時とは、若干ニュアンスが違う。もちろんどれも同じ多福寺と接して鎮座するお地蔵さまのことであるが、三富または上富という所在を表す「富の」という響きに村持ちの響きが重なるのである。多福寺や毘沙門社(多間院)は三富農民の菩提寺・鎮守として創建されたのであるから良いのであるが、こと地蔵(さま)は違うのである。三富新田開発の以前から武蔵野に鎮座する地蔵として、武蔵野付きの村々の農民が信仰してきたものである。大塚村西福寺(川越市)に伝わる縁起によれば、延暦24年に坂上田村麻呂(縁起では田村將軍)が北国の反乱を鎮圧するため下向する途中、武蔵野で道に迷ってしまう。困っているところに年のころ15・16歳と見える僧(出家)に出会うのである。田村將軍がこの僧に北国への道を尋ねると、北国征伐の加勢を告げられる。田村將軍は不思議に思いながらも、万事頼み入ると

言うところ、どこからともなく甲冑を帯びた異形の兵が大勢現れる。田村將軍は、僧に向かって、あなたは生身の人ではないと見えるが、どなたか名を名乗って頂けないかと言うと、たちまち左手に寶珠、右手に錫杖を持った身長3メートルほどの姿になり、我は往古より武蔵野に垂迹する木の宮地蔵権現だと名乗り、形があつて無く、始まりも終わりもない。大地から湧き出る力そのものである。今、国の平和と人民の幸福のため、加勢すると告げられる。田村將軍の地蔵の加勢を得て無事反乱を平定する地蔵堂創建へと続く逸話が語られている。地蔵堂の創建が9世紀初頭かは定かではないが、少なくとも江戸時代以前に溯り、武蔵野の村々の成立と期を一にするのは、間違いないであろう。大塚村西福寺は亀久保村地蔵院(ふじみ野市)とともに木の宮地蔵尊の別当職(管理する者)を戦前まで務めていた。

【8月4日まで「武蔵野地蔵権現縁起」資料館に展示中。

問答花野保護課 0258-6655